

情報通信 No.1

決算特別委員会 (平成15年度)

New komei

発行者：佐藤ひろと

発行日：2003.12

企画総務委員会所管分の決算審査

<入札制度の改革について>

- ①世田谷区の入札制度への取り組みとその準備、あわせて電子入札制度への進捗状況はどうなっているのか？
- ②世田谷区の現行の入札方法、対象条件、さらに全体の割合はどうなっているのか？
- ③指名競争より競争率が高いとされる公募型、プロポーザルの競争入札と、制限付き一般競争入札のメリット、デメリットはどこにあるのか？
- ④古い慣習から脱却して、多様な契約形態や入札制度を採用し、現状に則した契約システムの改善を図るべきではないか？
- ⑤最低制限価格を設けない入札では、落札価格に大きな差がある場合が多い。過剰な競争によりまじめな事業者が排除され、適正な利潤が確保できないようなことはないか？
- ⑥新規参入業者が実績を作る機会を与え、公平性を保った上での自由競争を公共事業に取り入れていくべきである。

<政策評価と政策評価委員会について>

- ①今年度、設置された政策評価委員会は「第三者評価を行うことを目的とする」とあるが、その構成の経緯および必要性を説明せよ。
- ②約2,500～2,700あるといわれる区の総事業を、5人の委員会でチェックできるのか？どのようなサイクル、方法で点検作業を行っているのか明確にせよ。
- ③政策評価委員会での評価結果に基づき、委員会は区民に対してどうやって説明責任を果たしていくつもりなのか？
- ④政策評価委員会で行われる議論や評価は、基本計画審議会にどのような形で反映されるのか？さらに行革推進委員会の論議の蓄積等も合わせて、新しい取り組みが出来るのかどうかを具体的に説明せよ。
- ⑤世田谷区の政策評価は、評価指標をどこにおいているのかを具体的に示せ。
- ⑥欧米の行政における「顧客志向」の傾向を踏まえて、それぞれの施策が区民に対してどういう効用をもたらしたかを示せるようにすべきだ。
- ⑦政策評価や第三者評価の意義を区民に理解していただき、次のステップに進むためにはどうすればいいと思うか？

福祉保健委員会所管分の決算審査

<小児救急医療とそれに関連した地域の子育てについて>

- ①東京都では小児救急医療小委員会を設け、都民にわかりやすい救急医療体制の確保を検討しているが、区として小児医療の現状をどう考えるか？
- ②子どもの初期医療に対する親の認識を深めるために、相談窓口や情報提供のあり方を考えるべきではないか？
- ③地域で取り組んでいるさまざまな子育て支援のセミナーについて、具体的な開催サイクル、内容、参加人数などのデータを示せ。また区として、今後の対応をどうするのか？

<ユニバーサル社会を目指す施策について>

- ①ユニバーサル社会形成推進基本法の法制化を踏まえ、区としての今後の取り組みはどうなっているのか
- ②平成15年、16年度の実施計画の中に「教育相談の充実と連携の推進」とあるが、総合福祉センターについての支援費制度への転換も含め、具体的な推進策を示せ。